

リーディングDXスクール事業【実践事例】

奈良市立鼓阪小学校（奈良県）【指定校】

【取組内容】 職員室と教室の往復削減

【校務DX】

本市では、学習系と校務系のネットワーク統合が行われ、授業と校務で使用する端末がネットワークを切り替える必要もなく、一台の端末で行うことができる。

これまでも、一台の端末で学習と校務を行うことができていたが、ネットワークの切り替えが必要であり、また、データ移動も管理職の承認が必要になるなど、データ活用の観点からも活用しづらい環境であった。

今回ネットワークが統合され、場所を問わない環境が構築されたことにより、職員室と教室の往復の回数が減っただけでなく、クラウド環境を活用したデータの共有等、個々の教員の状況に応じて資料の共有や修正、提案等ができるようになった。

こんな時間はありませんか？

- ・ 職員朝礼
- ・ コピー機や印刷機の前にいる時間
- ・ プリントを配る時間・集める時間
- ・ 回収物の枚数を数えて転記する時間
- ・ 朝の欠席電話を受ける時間
- ・ 職員室から教室に伝言に行く時間

【教員の様子】

クラウドを活用した業務の環境が整えられたことにより、時間の使い方・情報共有の仕方等、業務の仕方そのものに変化が起きている。なれるまでの負担も大きかったが、当たり前を見直すきっかけとして日々の業務改善に役立っている様子がうかがえる。